

# ナノ・バイオメディカル学会 第3回大会 (The Nano Biomedical Society) プログラム

日時：平成22年9月17日(金)

場所：鶴見大学会館 2F サブホール

11:50-12:50 理事会

12:55-13:00 開会の辞

13:00-14:05 一般演題① 座長： 浅岡 憲三 先生

13:00- 1. Cardiac Vascular Peptide (CVP)の心筋細胞への影響

○内仲彩子<sup>1)</sup>，濱田吉之輔<sup>1)</sup>，河口直正<sup>1)</sup>，森誠司<sup>1)</sup>，松浦成昭<sup>1)</sup>

1) 阪大院医

13:13- 2. サケ白子由来DNA/プロタミン複合体の歯科生体材料への応用

○早川 徹<sup>1)</sup>，森 南奈<sup>2)</sup>，福島忠男<sup>3)</sup>，御手洗 誠<sup>4)</sup>，庵原啓司<sup>4)</sup>

1 鶴見大学歯学部歯科理工学講座

2 福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野

3 福岡歯科大学歯科医療工学講座生体工学分野

4(株) マルハニチロホールディングス

13:26- 3. カーボンナノチューブ - カチオン性ポリペプチド 複合体の形成とその脂質膜との相互作用

○植野 哲，斎藤 博幸

徳島大院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)

13:39- 4. 神経回路の量子論理

○松浦弘幸，根本哲也，伊藤安海，西井匠

国立長寿医療研究センター研究所

13:52- 5. 骨髄間質細胞は単球のTACE活性を抑制し樹状細胞分化を抑制し破骨細胞分化を誘導する

○日浅雅博<sup>1)</sup>，安倍正博<sup>2)</sup>，松本俊夫<sup>2)</sup>，浅岡憲三<sup>1)</sup>

1) 徳大院・生体材料，2) 徳大院・生体情報内科

14:05-14:10 休憩

14:10-15:40 特別講演 座長： 里村 一人 先生

14:10- 1. 抗加齢医学の最前線

鶴見大学歯学部教授・病院長 斎藤 一郎

14:55- 2. チタン表面のアパタイト薄膜コーティングと細胞接着タンパク質

鶴見大学歯学部歯科理工学講座 早川 徹

15:40-15:55 休憩

**15:55-17:00 一般演題② 座長： 亙理 文夫 先生**

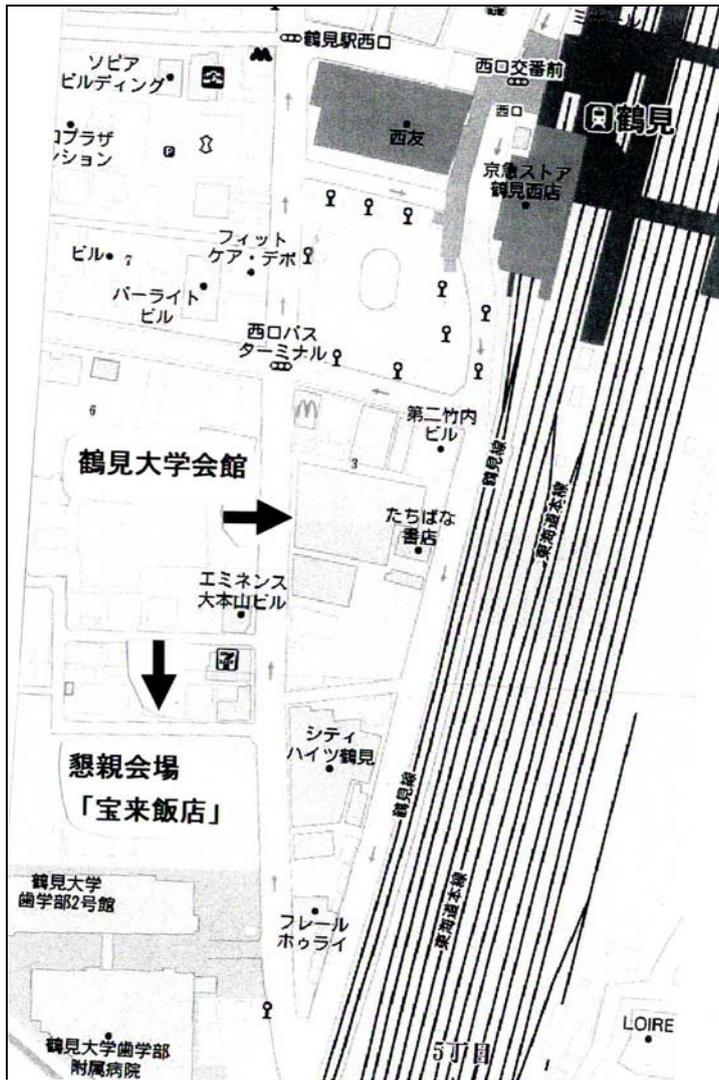
- 15:55- 6. 皮下埋入した金属材料が生体組織に及ぼす影響  
○齋藤設雄, 佐々木かおり, 根津尚史, 平 雅之  
岩医大・歯・医療工
- 16:08- 7. ポーラスチタンスカフォールドへの銀/ハイドロキシアパタイトナノコンポジットのコーティング  
○Xiong LU<sup>1,2</sup>, Jie QU<sup>1</sup>, 亙理文夫<sup>2</sup>  
1)中国・西南交通大・材料科学、2)北大院・歯・生体理工
- 16:21- 8. ナノピラーを用いた細胞培養：ピラーサイズによる軟骨スフェロイド形成  
○植村寿公<sup>1</sup>、Kim Sun Jung<sup>2</sup>、桑原孝介<sup>3</sup>、宮内昭浩<sup>3</sup>  
1)産総研 2)東工大 3)日立製作所
- 16:34- 9. 金属アレルギー患者の口腔内金属修復物分析  
○宇尾基弘, 村田 翼, 古橋一憲, 野谷健一, 北川善政, 亙理文夫  
(北大歯)
- 16:47- 10. 量子ドットの間葉系幹細胞への高効率導入法と再生医療への応用  
—第二稿 軟骨再生とリスク評価—  
○西正統<sup>1</sup>), 吉岡友和<sup>2</sup>), Wadhwa Renu<sup>1</sup>), 植村寿公<sup>1</sup>)  
1)産総研, 2)筑波大整形

**17:00-18:05 一般演題③ 座長： 植村 寿公 先生**

- 17:00- 11. マイクロ・ナノ物質の体内動態の追跡と生体への影響  
○阿部薫明、岩寺信喜、伊藤佐智子、石川紘佑、赤坂司、宇尾基弘、八若保孝、久保木芳徳、亙理文夫、林大輔<sup>2</sup>)、高田知哉<sup>2</sup>)、米澤徹<sup>3</sup>)  
1)北大院・歯、2)旭川工専、3)北大院・工
- 17:13- 12. Rhyolite のナノ粒子含有繊維の血液に与える効果  
○山下 菊治<sup>1</sup>)、高岡 英人<sup>2</sup>)、石川 達夫<sup>1</sup>)、角田 佳折<sup>1</sup>)、大野 照旺<sup>2</sup>)、北村 清一郎<sup>1</sup>)  
1)徳島大院 HBS 研究部、2)株式会社マテラ
- 17:26- 13. 多孔性カルシウム微粒子に対する生体反応  
○西川哲成<sup>1</sup>)、益野一哉<sup>1</sup>)、岡村友玄<sup>1</sup>)、富永和也<sup>1</sup>)、和唐雅博<sup>1</sup>)、国分麻佑<sup>1</sup>)、今井弘一<sup>2</sup>)、武田昭二<sup>2</sup>)、田中昭男<sup>1</sup>)  
1)大阪歯科大学口腔病理学講座、2)大阪歯科大学歯科理工学講座
- 17:39- 14. 毛細血管の形成に及ぼす C60 フラーレンの影響について (in vitro)  
○今井弘一<sup>1</sup>)、亙理文夫<sup>2</sup>)、高島宏昌<sup>3</sup>)、西川哲成<sup>4</sup>)、田中昭男<sup>4</sup>)、武田昭二<sup>1</sup>)  
1)大歯大・理工、2)北大院・歯・生体材料、3)(財)食品薬品安全センター秦野研、4)大歯大・口腔病理
- 17:52- 15. カーボンナノチューブによる細菌の捕捉と殺菌  
○赤坂 司、阿部薫明、宇尾基弘、亙理文夫  
北大院・歯

18:05-18:10 閉会の辞

18:30-20:30 懇親会 宝来飯店



### 発表される先生方へ

1. 発表時間は 10 分間、質疑応答時間は 2 分間です。
2. 発表終了 1 分前に緑ランプ、講演時間の終了時に赤ランプでお知らせします。時間厳守をお願いします。
3. 発表は PowerPoint を使用したコンピュータによる発表に限らせていただきます。映写は一面映写となります。
4. データの郵送。

演題番号と発表者氏名をつけたフォルダーを作り、この中に PowerPoint で作成したファイルを作ってください。使用できる OS は Windows のみで、アプリケーションソフトは Microsoft PowerPoint 2003 をご利用ください。データは CD-R に保存の上、予め、下記まで郵送をお願いします。

9 月 13 日（月）必着をお願いします。

〒230-8501

横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

鶴見大学歯学部口腔外科学第 2（口腔内科学）講座

山本 英雄 宛

5. 懇親会に参加される先生は、懇親会費として、2000 円受付時に徴収させていただきます（学生の参加は無料です）。